

アスモ新聞

アスモ新聞はアスモのホームページ <http://www.asumo-kaigo.jp/> からご覧になれます。
上記のアドレスか【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。

「人に喜ばれる仕事を！！」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

発行所：在宅介護センター・アスモ
平成20年4月

創刊第31号

〒165-0026
中野区新井1-26-4 オスカーマンション2F
☎ 03-5318-4007

から学んだことを次のステップに生かすために……
納会を最後に私もコーチを引退することになった。子供たち
多忙を極め、子供たちと接する機会が少なくなり、三月の
多く学ばせてもらった。しかしながら予想外に仕事の業務が
教える姿勢だったり、自分に必要とされることを
は仲間に対する思いやりだったり、目上の人に対する態度や
らっているというのが本場のところではないかと思う。それ
ちに教えているというのは立場上的の問題で、実際は教えても
姿は、指導するものにとつて最高の宝物なのである。子供た
育ったのだ。その彼も今年卒業。彼は私たちに「成長」とい
大きなプレゼントをしてくれた。子供たちが成長してくれ
た態度が、大きな要因だと思ふ。親父の後ろ姿を見て子供は
ださったと想像できる。実は、息子を成長させたのは、もち
ろん息子の努力もあるが、親父の動じることのない毅然とし
うことに素直に従え……など、私たちコーチをフォローして
「うちの息子がいじめられた」という姿勢で
あれば、結果は違つたと思う。おそろく……
息子の前で、「お前のことと思つてだぞ……」とか、「コーチの言
うことに素直に従え……」など、私たちコーチをフォローして
ださったと想像できる。実は、息子を成長させたのは、もち
ろん息子の努力もあるが、親父の動じることのない毅然とし
た態度が、大きな要因だと思ふ。親父の後ろ姿を見て子供は
育ったのだ。その彼も今年卒業。彼は私たちに「成長」とい
大きなプレゼントをしてくれた。子供たちが成長してくれ
た態度が、大きな要因だと思ふ。親父の後ろ姿を見て子供は



成長した。(夢はプロ野球の選手だと胸を張って言えるくらい
成長した。)

しかし、この時、親父が

卒業だね



代表取締役 花堂浩一

介護の仕事がひと段落したら、子供たちに
野球を教えてみたい。……とはじめた少年野
球のコーチも7年が経過し、今年も三月に納
会が行われた。……4年前のある日、一人の
気の弱そうな少年が父親に連れられて野球

妻への想い

アスモ・グループ会長 南 直也

最近、なぜか妻が遠くへ行ってしまふ夢を何
度も見てうなされる。

結婚してはや15年。この15年間には色々な
ことがあった。子供ができたり転職したりと……。
妻は、15年間変わらず、私に尽くしてくれて
いる。誕生日、バレンタインなど、折に触れ私に
プレゼントをくれる。夜遅く帰っても起きて待っ
てくれる。ところが私の性格といえば……亭主
関白そのもの。自分本位、独裁者もいいとこ
ろで、周囲からは「奥さん、よく一緒にいるね。
不思議だよ。信じられない。」とまで言われて
いるようだ。家族で外食のときは、妻や子供
の好みを無視して自分の好きな所へ。車で
買物に行っても、遅いと先に帰ってしまう。夜
も何時に帰宅するか分からない上、酒癖が
悪い。妻の体調が悪くても、「寝ていれば直る
んじゃないの」。まあ、こんな私によく15年間も
ついてきてくれたものだ。おそらく妻は幸せだ
と思ったことはないはずだ。早く生まれ変わり、
今度は普通の人生を歩みたいと思ってるんだ
ろうなあ。でも考えると、あと30年は一緒にいら
れるはずなんだから、見捨てないでね。

最愛の妻へ……「感謝してます」



詩のご紹介

武藤 真由美様

よそいきの服

私が始めてよそいきの服きたのは
ピアノの発表会のときでした
あとは小学校の入学式のときもきました
結婚式のときもよそいきの服を着ますね
でも、もうよそいきの服着なくなりました
よそいきの服をきていくところがないからです
私はよそいきの服をきるときはとってもうれしかったです
病気になる前はいっぱいきました
病気になるようになってきなくなりました
お友達はかわいいよそいきの服を見ていいなあと思いました
私はピンクやみずいろのよそいき服を着てみたかったです
よそいきの服を着ている人がうらやましいと思いました
やっぱりよそいきの服をきるとうれしいものです



素敵な詩をありがとうございました。

『 初心忘れずに！ 』

ヘルパー 高松 みつ江

初めて訪問させていただいたお宅はとても難しい方とお聞きしてとても緊張していました。しかしお話をさせていただくと、母と同じ年。しっかりした精神を持たれ、物を大事にされていて物事を1つ1つ解決していかれる方でした。ご主人を早くに亡くされとてもご苦労された分、何でもお見通しのような様子でした。お身体は小柄でしたがとてもおやさしく、大きい心で1つ1つ丁寧に指導して下さい、はっきりと態度で示して下さい私を育ててくれました。

何回目のケア中、世間話のたとえで「人間慣れると手抜きをする」その言葉にドキ！！不断ドジな私は反省しつつ初心にかえらねば．．．と思いました。



恩師の教え 「いつも相手のものさしで考え、謙虚さと感謝を忘れずに！！」

この言葉通り、すすんで行かればと改めて思う今日この頃です。

とてもいい方に巡り会え、本当に良かったと思っています。

そしてそのやさしさの変わらぬ花堂社長、スタッフの方達の中で勉強させていただける事に感謝の毎日です。(原文)

高松さんの誠実な心にいつも勉強させていただいております。 . . . スタッフ一同より



新聞記事から ~msn産経ニュース



～おじいさんのマドレーヌ～

「祖父が焼いたんです」ほのかな甘さは、手作り洋菓子店の味に似て幸せな気分させてくれる。そんなマドレーヌを職場に持ってきてくれた彼女のおじいさんは、90歳代である。

2人暮らしで妻が要支援2、本人が要支援1。介護保険でヘルパーが入ることになった。ついでに洗濯も買物もしてしまいそうな雰囲気だ。

孫である彼女は「祖母ができない部分だけをしてくれるとか、祖父と一緒に料理してくれるならいいけど。いつまでもマドレーヌを焼くような祖父でいてほしいんです。」という。

ヘルパーが入ることで2人の生活は楽にはなる。しかし、彼女の心配は、時間がかかっても、買物、料理をする今の生活が崩れれば、できないことが増えてしまうのではないかとということ。

本来、要支援の人への訪問サービスは、一緒に台所に立ち、できない部分をサポートし、自分で料理するよう促すこと。だが、現実にはなかなか難しい。

マドレーヌを焼くのに4時間かかると聞くと、90代での家事は大変だと思う。しかし、介護が不要な状態を維持するには…。その話を聞いた同僚たちは、代行型家事援助はどこまで必要かと悩むのであった。

シリーズ6

なかのものがたり

中野村の生活



青梅街道の宿場として発展した中野村は、多摩方面からの物資が集散し人馬の往来も激しく商業も盛んでした。堀の内妙法寺への参詣人も大勢通ったので飲食店や、工業もありました。

しかし、大部分は農業を営み、雑貨屋さんも大工さんも鍛冶屋さんも寺子屋の先生も農業に従事しており、自給自足が常でした。

中野村は、田より畑が多く、大根、にんじん、なす、いも、ごぼうなどの野菜類が主に作られていました。野菜を江戸市中に売りに行ったり、焚き木を拾ったり、綿布を織ったりして生活していました。

また、江戸城の御用として、松虫、鈴虫をはじめ、杉の葉、桃の葉や生きているガマガエル、コウモリ、ホタルなどを集めなければなりません。中野村の名主である堀江家の「御用日記」には、天保八年(1837年)の一年間に、桜の葉3000枚、コウモリ89匹、赤ガマガエル8匹、大根のたね5合を納めたと記されています。

松虫、鈴虫、ホタルは、観賞用として城中の部屋におくためでした。杉の葉は蚊を追いやったため、桃の葉はひふ病の薬としてお風呂に入れるためのものでした。また、生きているガマガエルは食料として、コウモリは薬として用いられたようです。

これらの上納物にはそれぞれに応じてお金が払われましたが、虫類などは足が一本でも落ちていたり、羽根が痛んだものは除外されるので、集めたり運搬したりするのに大変苦労したそうです。

